

■養成所ニュースプラス第 12 号 2025□■

毎日のように「経験のしたことのない」「危険な」「命に係わる」暑さだと伝える報道が続いています。所外活動を見合わせている施設もあると聞きます。熱中症には注意してください。

8 月 1 日、第 38 回社会福祉士国家試験の施行について官報が公告されました。試験センターの「試験概要」も当日の試験時間等が加えられました。請求した皆さんの手元には、「受験の手引」が届き始めているようです。内容をよく読んで準備を進めましょう。

Plus Quiz は「障害者福祉」から「障害児・者の実態」についての問題です。選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかもあわせて考えてみましょう。

■Plus Quiz ・ ・ ・ ・ ・

【37 回問題 52】「令和 4 年生活のしづらさなどに関する調査」（厚生労働省）、「令和 5 年度障害者雇用実態調査」（厚生労働省）及び「令和 5 年版障害者白書」（厚生労働省）にみられる障害児・者の実態に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1. 2012 年（平成 24 年）から 2022 年（令和 4 年）の間に、特別支援教育を受ける児童生徒の数は減少した。
2. 身体障害者と知的障害者を比較すると、知的障害者の方が身体障害者よりも施設入所者の割合が高い。
3. 19 歳以上 65 歳未満の在宅の身体障害者と知的障害者を比較すると、知的障害者の方が身体障害者よりも親との同居率が低い。
4. 在宅の身体障害者と知的障害者を比較すると、知的障害者の方が身体障害者よりも 65 歳以上の者の割合が高い。
5. 雇用されている身体障害者と知的障害者を比較すると、知的障害者の方が身体障害者よりも週の所定労働時間が 30 時間以上である者の割合が高い。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info ・ ・ ・ ・ ・

- ・ (36-37 期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・ 受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。
- ・ (第 36-37 期生) 今夏のスクーリングの日程及び会場のご案内です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1560343&c=3246&d=99c7>

■Test Info ・ ・ ・ ・ ・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・ 第 38 回国家試験は、令和 8 年 2 月 1 日（日）です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1560344&c=3246&d=99c7>
- ・ 第 38 回社会福祉士国家試験『受験の手引』請求窓口が開設されました。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1560345&c=3246&d=99c7>
- ・ 日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1560346&c=3246&d=99c7>
- ・ 本養成所では、受験対策講座の一環として「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」を web にて公開しています。

アクセスするための URL やパスワード等のお知らせは、養成所ニュースプラス第 6 号配信時に PDF データを添付し

ておりますので、確認のうえぜひ受講してください。

URL はこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1560347&c=3246&d=99c7>

※2 本目以降の動画も順次公開してまいります。今しばらくお待ちください。

■Plus Info

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1560348&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1560349&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【受験対策ミニ講座第9回／改めてスケジュールを考える】

8 月も 1 週が過ぎました。中央法規「合格応援プラン」を進めている皆さんは、5 科目の社会保障が終わります。先週・今週は問題数が多くて大変だったかもしれません。

スクーリング時のアンケートで 8 月から受験対策をスタートすると回答した皆さん、始めていますか。まだ計画が立てられていないようであれば、この 1 週間で検討しましょう。仕事や家事を抱える皆さんが、国家試験当日まで走り続けるには「スケジュール」が必要です。

先輩からは、最後まで科目が終わらないまま当日を迎えたという話も聞いてきました。皆さんは、1 日何分できるのか、仕事のある日は毎日できるのか、休日はどのように活用するのか等考えてスケジュールを立ててください。なかなか始められない皆さんは、取り組みやすい科目から始めるのも工夫です。

スケジュールの見当もつかないという皆さんには、中央法規のスケジュールをたたき台にしてアレンジするのも良いと思います。中央法規の提案は、平日 90 分間を 1 日おきに、休日もどちらか 1 日行くと、11 月中旬には過去問 3 年分を 3 回繰り返せるというものです。3 年分で足りないと感じた先輩は、予備日をなくし同様に 5 年分に取り組んでいましたし、1 日 60 分間しかできない先輩は、予備日を 1 日にしてやり切りました。来週から始める方は、スケジュールどおり「6 権利擁護を支える法制度」から始め、1 から 5 の 5 科目は、予備日や 12 月の模擬問題期間を使って補うことも可能です。まずは、スケジュールを可視化し前に進むことが大事です。

※次回は、Plus Column は 1 回お休みし、次々回は、無料ツールの活用についてお伝えします。

【Plus Quiz 正答と解説】

メルマガ 9 号でもふれていますように、出題基準には「白書などの公刊物に記載されている事項などからも出題される。」との文言があります。第 37 回国試でも白書や統計からの出題は 5 科目で計 7 問ありました。

「地域福祉と包括的支援体制」では地方財政白書、「高齢者福祉」では高齢社会白書から毎年のように出題されています。「権利擁護を支える法制度」では成年後見関係事件の概況、「保健医療と福祉」では国民医療費の概況が頻出です。

「生活のしづらさなどに関する調査」からの出題は、第 34 回以来となります。この調査は、在宅の障害児・者等の生活実態とニーズの把握を目的としており 5 年ごとに行われます。2021（令和 3）年実施がコロナ禍で 1 年延びたことで、公表は 2024（令和 6）年となりました。前回調査も第 31 から 34 回まで出題されましたので、対策は必要です。ただ、今回は「障害者雇用実態調査」「障害者白書」と抱き合わせで出題されている点が新しい傾向です。

国試日前年の 6 月頃までに公表された白書・統計には目を通してと言いたいところですが、手が回らないという方は、過去問で傾向をつかんでください。

1. ×特別支援教育を受ける児童生徒の数は倍増しています。特に、特別支援学級の在籍者数(2.1 倍)、通級による指導

の利用者数（2.5 倍）の増加が顕著です。（令和 5 年版障害者白書）

2. ○施設入所者の割合は、知的障害者(12.1%)の方が身体障害者（1.7%）よりも高くなります。精神障害者の入院患者の割合は 4.7%です。（令和 5 年版障害者白書）

3. ×親との同居率は、知的障害者（68.5%）の方が身体障害者（35.9%）よりも高くなります。（令和 4 年生活のしづらさなどに関する調査）

4. ×在宅の 65 歳以上の割合は、知的障害者（14.6%）の方が身体障害者（71.2%）よりも低くなります。（令和 4 年生活のしづらさなどに関する調査）

5. ×週の所定労働時間が 30 時間以上である者の割合は、知的障害者（64.2%）の方が身体障害（75.1%）よりも低くなります。また、短時間労働（週 20 時間以上 30 時間未満）の割合で見ると、知的障害者（29.6%）の方が身体障害者（15.6%）よりも高くなります。（令和 5 年度障害者雇用実態調査）

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus